



ニュース

平成17年1月4日

社長年頭訓示

住友不動産株式会社
社長 高島準司

本年は、「巡航成長三カ年計画」の二年目である。「再建四カ年計画」、「新成長三カ年計画」の達成に続き、更なる躍進を目指して策定した本計画は、積極路線を堅持しつつも成長速度を巡航速度にコントロールして、財務体質の強化を一段と進めることが課題だ。

昨年は、長期デフレの厳しい事業環境が一変し、分譲マンション市場が堅調に推移する一方で、オフィスビル市場が回復した。さらに、不動産市場への資金流入が増加し、都心では、収益物件価格が値上がり傾向を示して、地価も上昇に転じた。バブル崩壊から始まった不動産市場の長期低迷にも、ようやく明るさが見えてきた。

これまで当社は、環境悪化を乗り越え、事業システムを改革しながら幾多の経営課題を解決し、実質十期連続の増収増益を続けてきた。しかし、環境の好転に安堵し、過去の成果に安住しては、経営計画の達成と持続的な発展は覚束ない。

システムを不断に見直し、大胆に改革し、非常識に挑戦する意欲を持ち続けたことが当社発展の要諦であった。「治に居て乱を忘れず」、将来の躍進を見据え、今こそ、目標を一段と高く持とうではないか。

以上